

平成 19 年度用高等学校理科 高等学校 理科総合 A 改訂版 (理A016)

平成 20 年度用教科書では以下について訂正致します。ご迷惑をおかけ致しますことをお詫び申し上げますとともに、ご指導に際しまして、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。 (株)新興出版社啓林館編集部

訂正箇所		原文	訂正文
頁	行		
118	やってみよう	(下側の罫線が抜けている。)	(下側の罫線を入れる。)

改善のための訂正

訂正箇所		原文	訂正文
頁	行		
- 付録	周期表	<u>104Rf(261)</u> <u>105Db(262)</u> <u>106Sg(263)</u> <u>107Bh(264)</u> <u>108Hs(269)</u> <u>109Mt(268)</u> <u>110Ds(269)</u> <u>111Rg(272)</u> (付録のキャプション) (2005)	<u>267</u> <u>268</u> <u>271</u> <u>272</u> <u>277</u> <u>276</u> <u>281</u> <u>280</u> (2007)
54	図 9	酸の水溶液(食酢,上)と塩基の水溶液(セッケン水,下)	食酢(酸性)とセッケン水(塩基性)
66	左段	<u>オキシライド乾電池</u> (「オキシライド乾電池の写真」)	<u>ニッケル系一次電池</u> (「ライド」の字を削除)
87	15 - 18	古来は、動物(アキガイ科の貝から得られる貝紫, エンジムシから得られるコチニールなど), 植物(アイ, ベニバナ, アカネなどの草木のしぼり汁)が天然染料として使われてきたが, 現在では, ほとんど合成染料(アゾ染料など)が使われている。	古来は、動物(アキガイ科の貝から得られる貝紫, エンジムシから得られるコチニールなど), 植物(アイ, ベニバナ, アカネなどの草木のしぼり汁)から得られる染料が天然染料として使われてきたが, 現在では, ほとんど合成染料(アゾ染料など)が使われている。
126	表 1	アルミニウム 0.902 鉄 0.451 銅 0.385 鉛 0.129 酸素(16) 0.922 水素(0) 14.19	アルミニウム 0.90 鉄 0.45 銅 0.38 鉛 0.13 酸素(16) 0.92 水素(0) 14.3
128	4	お玉じゃくし	玉じゃくし
135	7	光はエネルギーである。	光はエネルギーをもっている。
140	6 - 10	<u>実験の計画</u> 左図のように, 同じ質量の金属を 3 種類用意し, 同じ温度(室温)にしておく。これらと同じ量, 同じ温度の湯に別々に入れる。十分に時間が経過した後, 水温が大きく下がった金属ほど, 温まるのに多くの熱を必要としたことになるので, 比熱の大きな金属ということになる。	<u>実験の計画</u> 左図のように, 3 種類の金属を用意し, それぞれを湯に入れたときの湯の温度の変化を測定し, 各金属の温まりやすさを調べる(実験)。また, 3 種類の金属を温めて, それぞれを水に入れたときの水温の変化を測定し, 各金属の冷めやすさを調べる(実験)。
150	図 11	(中央のイラストを変更)	
158	図 24	(ピンク地に + の部分を説明するキャプション追加)	深成岩体
163 193	2 さくいん	太陽エネルギー	太陽のエネルギー
169	7 - 12	ウランの採掘から発電・再処理までの一連の流れを核燃料サイクルといい, 核燃料の有効利用という観点から, 日本でもこのサイクルを確立しようとしているが, <u>放射性廃棄物の処理などの問題もあり, 全面的な実施にはいっていない。</u>	ウランの採掘から発電・再処理・再利用・ <u>廃棄物の処分</u> までの一連の流れを核燃料サイクルといい, 核燃料の有効利用という観点から, 日本でもこのサイクルを確立しようとしているが, <u>放射性廃棄物の処理・処分などの課題が残っている。</u>